

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月13日

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4061 URL <https://www.denka.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 郁雄
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 山本 浩之 (TEL) 03(5290)5511
 定時株主総会開催予定日 2025年6月20日 配当支払開始予定日 2025年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	400,251	2.8	14,413	7.7	7,623	39.3	△12,300	—
2024年3月期	389,263	△4.5	13,376	△58.6	5,474	△80.5	11,947	△6.4

(注) 包括利益 2025年3月期 △7,089百万円(—%) 2024年3月期 19,301百万円(△7.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△142.73	—	△4.1	1.2	3.6
2024年3月期	138.61	—	4.0	0.9	3.4

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 1,983百万円 2024年3月期 1,731百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	655,524	308,296	45.2	3,436.95
2024年3月期	616,244	316,915	49.9	3,568.69

(参考) 自己資本 2025年3月期 296,181百万円 2024年3月期 307,537百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	18,620	△59,586	40,118	37,002
2024年3月期	36,260	△22,572	712	35,386

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	60.00	—	40.00	100.00	8,627	72.1	2.9
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	8,627	—	2.9
2026年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00	—	57.5	—

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	195,000	△2.0	7,000	△25.4	4,500	△19.3	2,500	△25.9	29.01
通期	410,000	2.4	25,000	73.4	19,000	149.2	15,000	—	174.06

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2025年3月期	88,555,840株	2024年3月期	88,555,840株
2025年3月期	2,380,123株	2024年3月期	2,379,319株
2025年3月期	86,176,487株	2024年3月期	86,194,729株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	308,715	1.7	2,904	△35.0	3,730	59.5	△11,110	—
2024年3月期	303,694	△7.1	4,466	△79.8	2,339	△88.8	7,370	△14.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	△128.92	—
2024年3月期	85.52	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	502,602	197,105	39.2	2,287.25
2024年3月期	485,629	218,397	45.0	2,534.30

(参考) 自己資本 2025年3月期 197,105百万円 2024年3月期 218,397百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当期のわが国経済は、個人消費や設備投資が持ち直すなど、景気は緩やかに回復しました。世界経済は、全体としては持ち直しの動きがみられましたが、中国経済の減速や欧米での物価高など、先行き不透明な状況が続きました。さらに、足もとでは米国の関税政策の影響や為替の急激な変動など景気減速の懸念が高まっています。

このような状況下、当社グループは、2023年度にスタートした8カ年の経営計画「Mission2030」に掲げる「事業価値創造」、「人財価値創造」、「経営価値創造」の3つの成長戦略にもとづく施策を推進し、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。

この結果、当期の業績は、原燃料価格の上昇に応じた販売価格改定および円安による手取り増などにより、売上高は4,002億51百万円と前年同期に比べ109億87百万円(2.8%)の増収となりました。収益面では、販売数量が減少したほか、海外子会社の為替換算影響などによる固定費の増加があったものの、円安による交易条件の改善があり、営業利益は144億13百万円(前年同期比10億36百万円増、7.7%増益)となり、経常利益は76億23百万円(前年同期比21億48百万円増、39.3%増益)となりました。親会社株主に帰属する当期純損益は、特別損失として大船工場の稼働停止に伴う事業整理損や米国の子会社デンカパフォーマンスエラストマー社で固定資産減損損失を計上したことから、123億円の損失(前年同期は119億47百万円の利益)となりました。

<電子・先端プロダクツ部門>

球状アルミナや球状シリカは、パソコンやスマートフォン用半導体向けの需要は緩やかな回復にとどまりましたが、生成AI用半導体向けの需要が拡大し、全体で増収となりました。高機能フィルムも電子部品向けの需要が緩やかに回復し増収となりました。また、アセチレンブラックの販売は、xEV向けは前年を下回りましたが、高圧ケーブル向けは前年を上回り、全体で増収となりました。このほか、LED向けサイアロン蛍光体“アロンブライト”は販売数量が増加し増収となり、高信頼性放熱プレート“アルシンク”も、電鉄向けの需要回復や、再生可能エネルギーの直流送電用途での需要拡大により増収となりました。一方、セラミックス回路基板は販売数量が前年を大幅に下回り減収となりました。

この結果、当部門の売上高は922億3百万円(前年同期比43億64百万円(5.0%)増収)となり、営業利益は91億68百万円と前年同期に比べ1億46百万円(1.6%)の増益となりました。

<ライフイノベーション部門>

インフルエンザワクチンの出荷は前年並みとなりました。一方、POCT検査試薬は、新型コロナとインフルエンザの同時診断キットは、検査需要は旺盛に推移しましたが生産能力増強工事に伴う設備の一時停止により十分な供給量が確保できなかったほか、年度末には流行が収束し、販売数量が前年を下回り減収となりました。このほか、その他の検査試薬の販売は前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は432億62百万円(前年同期比38億16百万円(8.1%)減収)となり、営業利益は96億2百万円と前年同期に比べ21億31百万円(18.2%)の減益となりました。

<エラストマー・インフラソリューション部門>

クロロブレンゴムの需要は低調に推移しており、販売数量は前年並みとなりました。また、コスト面では、米国の子会社デンカパフォーマンスエラストマー社で物価上昇による固定費の増加や原材料価格の上昇があり、収支を圧迫しました。このほか、農業・土木用途向けのコルゲート管やセメントの販売も前年並みとなりましたが、特殊混和材の販売は工事遅れなどの影響により前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は1,116億73百万円(前年同期比3億18百万円(0.3%)増収)となり、79億62百万円の営業損失(前年同期は営業損失92億95百万円)となりました。

<ポリマーソリューション部門>

当部門は各製品で原燃料価格の上昇に応じた販売価格の改定を進めました。数量面では、デンカシンガポール社のMS樹脂は前年並みとなり、AS・ABS樹脂や透明樹脂は前年を上回りました。このほか、食品包材用シートおよびその加工品や合繊かつら用原糸“トヨカロン”は、需要低迷が続いており前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は1,353億65百万円（前年同期比111億25百万円（9.0%）増収）となり、営業利益は11億54百万円（前年同期は営業損失1億2百万円）となりました。

<その他部門>

YKアクロス株式会社等の商社は、取扱高が概ね前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は177億46百万円（前年同期比10億4百万円（5.4%）減収）となり、営業利益は23億95百万円と前年同期に比べ4億98百万円（26.3%）の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ392億79百万円増加の6,555億24百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ50億7百万円増加の2,704億55百万円となりました。固定資産は有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ342億72百万円増加の3,850億69百万円となりました。

負債は、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べ478億98百万円増加の3,472億28百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ86億19百万円減少の3,082億96百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の49.9%から45.2%となり、1株当たり純資産は3,568円69銭から3,436円95銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、370億2百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億16百万円の増加となりました。なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が減少したことなどにより、186億20百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資の支払いなどにより、595億86百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加などにより、401億18百万円の収入となりました。

(参考) キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率(%)	50.8	51.7	50.1	49.9	45.2
時価ベースの自己資本比率(%)	72.5	52.6	39.8	32.8	28.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.4	3.2	19.0	4.8	11.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	49.8	45.4	8.1	21.7	8.9

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

2025年度は、米国の関税政策や為替変動などの不安定要素があるなか、上期は全般的な需要低迷が続きますが、下期以降は電子・先端プロダクトを中心とした需要の回復を見込んでおります。これに加え、当社が実行している収支改善諸施策の効果発現により、営業利益は250億円と前連結会計年度からの増益を見込みます。また、経常利益は190億円、親会社株主に帰属する当期純利益は150億円の予想としております。

2025年度の連結業績予想につきましては、本日開示した「2024年度(2025年3月期) 決算説明会資料」もあわせて参照ください。

※連結業績予想におきましては、米国子会社の製造設備の暫定停止により想定される影響を勘案しております。

〔2025年度通期連結業績予想〕

・売上高	4,100億円 (前年比 2.4%増)
・営業利益	250億円 (前年比 73.4%増)
・経常利益	190億円 (前年比 149.2%増)
・親会社株主に帰属する当期純利益	150億円 (前年比 —)
・配当金	年100.00円/株

〔通期連結業績予想の前提条件〕

- ・国産ナフサ価格 69,000円/k1
- ・為替レート 145円/US\$

〔セグメント別業績予想〕

(単位：億円)

連結売上高・営業利益 (予想)		2025年度 第2四半期予想	2025年度 通期予想
電子・先端プロダクト	売上高	500	1,050
	営業利益	40	100
ライフインノベーション	売上高	200	450
	営業利益	45	100
エラストマー・ インフラソリューション	売上高	500	1,050
	営業利益	△35	10
ポリマーソリューション	売上高	650	1,350
	営業利益	10	20
その他・消去	売上高	100	200
	営業利益	10	20
合計	売上高	1,950	4,100
	営業利益	70	250

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、当社グループは、将来における国際会計基準の適用に備え、国際会計基準の知識の習得、日本基準とのギャップ分析、導入における影響度調査等の取組みを実施しており、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,386	37,002
受取手形、売掛金及び契約資産	96,431	88,035
商品及び製品	81,235	89,988
仕掛品	5,816	6,565
原材料及び貯蔵品	34,565	33,951
その他	12,262	15,175
貸倒引当金	△249	△262
流動資産合計	265,447	270,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	80,601	85,794
機械装置及び運搬具（純額）	93,112	99,494
工具、器具及び備品（純額）	4,565	5,239
土地	63,740	63,674
リース資産（純額）	3,451	3,823
建設仮勘定	36,409	54,942
有形固定資産合計	281,880	312,969
無形固定資産		
のれん	44	10
特許権	407	396
ソフトウェア	1,429	1,828
その他	3,120	861
無形固定資産合計	5,001	3,097
投資その他の資産		
投資有価証券	52,511	48,702
長期貸付金	101	87
退職給付に係る資産	-	4,316
繰延税金資産	6,371	9,988
その他	5,003	5,985
貸倒引当金	△72	△77
投資その他の資産合計	63,914	69,002
固定資産合計	350,796	385,069
資産合計	616,244	655,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,193	48,023
短期借入金	46,368	74,679
コマーシャルペーパー	6,000	33,000
1年内返済予定の長期借入金	5,000	-
1年内償還予定の社債	7,000	15,000
未払法人税等	4,479	2,321
未払消費税等	946	262
賞与引当金	2,968	2,909
その他	44,601	54,304
流動負債合計	171,557	230,501
固定負債		
社債	30,000	15,000
長期借入金	80,000	80,000
繰延税金負債	3,043	3,777
再評価に係る繰延税金負債	8,367	8,613
退職給付に係る負債	657	2,506
株式給付引当金	110	145
その他	5,593	6,684
固定負債合計	127,771	116,727
負債合計	299,329	347,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,405	49,412
利益剰余金	187,574	167,074
自己株式	△7,785	△7,786
株主資本合計	266,192	245,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,257	12,062
繰延ヘッジ損益	△34	△56
土地再評価差額金	10,407	10,161
為替換算調整勘定	16,680	26,104
退職給付に係る調整累計額	33	2,210
その他の包括利益累計額合計	41,344	50,483
非支配株主持分	9,377	12,114
純資産合計	316,915	308,296
負債純資産合計	616,244	655,524

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	389,263	400,251
売上原価	306,762	315,655
売上総利益	82,501	84,595
販売費及び一般管理費	69,124	70,182
営業利益	13,376	14,413
営業外収益		
受取利息	215	549
受取配当金	1,447	812
受取保険金	1,195	288
持分法による投資利益	1,731	1,983
その他	575	592
営業外収益合計	5,165	4,226
営業外費用		
支払利息	1,683	2,093
固定資産処分損	2,054	2,543
操業休止等経費	4,639	3,416
為替差損	796	599
その他	3,893	2,362
営業外費用合計	13,067	11,016
経常利益	5,474	7,623
特別利益		
投資有価証券売却益	17,442	367
特別利益合計	17,442	367
特別損失		
減損損失	-	16,111
事業整理損	7,573	7,852
災害による損失	859	-
関係会社株式評価損	-	1,110
特別損失合計	8,433	25,074
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	14,483	△17,083
法人税、住民税及び事業税	5,147	2,995
法人税等調整額	△2,680	△3,022
法人税等合計	2,466	△26
当期純利益又は当期純損失(△)	12,017	△17,056
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	69	△4,756
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	11,947	△12,300

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	12,017	△17,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,136	△2,712
繰延ヘッジ損益	-	△557
土地再評価差額金	-	△246
為替換算調整勘定	5,702	10,587
退職給付に係る調整額	3,311	2,177
持分法適用会社に対する持分相当額	406	717
その他の包括利益合計	7,284	9,966
包括利益	19,301	△7,089
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	19,096	△3,161
非支配株主に係る包括利益	204	△3,928

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	36,998	49,406	183,391	△7,650	262,145
当期変動額					
剰余金の配当			△7,764		△7,764
親会社株主に帰属する 当期純利益			11,947		11,947
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△0			△0
自己株式の取得				△150	△150
自己株式の処分		△0		15	15
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	△0	4,182	△134	4,047
当期末残高	36,998	49,405	187,574	△7,785	266,192

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価証 券 評価差額金	繰延ヘッジ損 益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	16,350	△246	10,407	11,101	△3,277	34,334	3,871	300,351
当期変動額								
剰余金の配当						-		△7,764
親会社株主に帰属する 当期純利益						-		11,947
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						-		△0
自己株式の取得						-		△150
自己株式の処分						-		15
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,092	211	-	5,578	3,311	7,009	5,506	12,516
当期変動額合計	△2,092	211	-	5,578	3,311	7,009	5,506	16,563
当期末残高	14,257	△34	10,407	16,680	33	41,344	9,377	316,915

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	36,998	49,405	187,574	△7,785	266,192
会計方針の変更による 累積的影響額			△435		△435
会計方針の変更を反映した 当期首残高	36,998	49,405	187,138	△7,785	265,757
当期変動額					
剰余金の配当			△7,764		△7,764
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△12,300		△12,300
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		16			16
連結子会社株式の売却 による持分の増減		△8			△8
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分		△0	△0	4	4
土地再評価差額金の取 崩			0		0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	7	△20,064	△0	△20,058
当期末残高	36,998	49,412	167,074	△7,786	245,698

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価証 券 評価差額金	繰延ヘッジ損 益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	14,257	△34	10,407	16,680	33	41,344	9,377	316,915
会計方針の変更による 累積的影響額							-	△435
会計方針の変更を反映した 当期首残高	14,257	△34	10,407	16,680	33	41,344	9,377	316,479
当期変動額								
剰余金の配当							-	△7,764
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)							-	△12,300
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動							-	16
連結子会社株式の売却 による持分の増減							-	△8
自己株式の取得							-	△5
自己株式の処分							-	4
土地再評価差額金の取 崩							-	0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,195	△22	△246	9,424	2,177	9,138	2,736	11,874
当期変動額合計	△2,195	△22	△246	9,424	2,177	9,138	2,736	△8,183
当期末残高	12,062	△56	10,161	26,104	2,210	50,483	12,114	308,296

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	14,483	△17,083
減価償却費	26,516	27,820
のれん償却額	403	37
賞与引当金の増減額(△は減少)	△57	△26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	63	166
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23	6
受取利息及び受取配当金	△1,663	△1,362
支払利息	1,683	2,093
持分法による投資損益(△は益)	△1,731	△1,983
投資有価証券評価損益(△は益)	5	1,110
投資有価証券売却損益(△は益)	△17,442	△367
固定資産除売却損益(△は益)	251	422
事業整理損	7,573	5,986
減損損失	-	16,111
売上債権の増減額(△は増加)	3,224	10,416
棚卸資産の増減額(△は増加)	492	△9,456
仕入債務の増減額(△は減少)	5,122	△7,812
その他	1,838	△2,787
小計	40,788	23,291
利息及び配当金の受取額	2,113	2,522
利息の支払額	△1,671	△2,097
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,970	△5,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,260	18,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,855	△58,752
有形固定資産の売却による収入	0	3
無形固定資産の取得による支出	△824	△1,078
投資有価証券の取得による支出	△355	△870
投資有価証券の売却による収入	22,089	1,471
子会社株式の売却による収入	-	715
その他	373	△1,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,572	△59,586
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	739	53,647
長期借入れによる収入	15,000	-
長期借入金の返済による支出	△11,975	△5,000
社債の償還による支出	-	△7,000
自己株式の取得による支出	△150	△5
連結財務諸表提出会社による配当金の支払額	△7,764	△7,764
非支配株主への配当金の支払額	△144	△161
連結子会社設立に伴う非支配株主からの払込み による収入	5,246	-
非支配株主からの払込みによる収入	-	6,956
その他	△238	△554
財務活動によるキャッシュ・フロー	712	40,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	787	2,464
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	15,186	1,616
現金及び現金同等物の期首残高	20,199	35,386
現金及び現金同等物の期末残高	35,386	37,002

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(退職給付債務の計算方法の変更)

当連結会計年度より、当社の連結子会社であるYKアクロス株式会社において、退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更は、YKアクロス株式会社では、近年、従業員数が増加傾向にあり、また今後の事業環境の変化に対応させるため、さらなる人員増の可能性があることから、これを機に、退職給付に係る数理計算上の見積計算の信頼性を検証したところ、原則法の採用により退職給付債務の計算の精度を高め、退職給付費用を期間損益計算により適切に反映することが可能であると判断したために行ったものであります。

当会計方針の変更は、過年度に関する必要なデータが蓄積されておらず、遡及適用に係る原則的な取り扱いが実務上不可能であるため、当該変更は当連結会計年度の期首から将来にわたって適用することとしております。

この結果、当連結会計年度の期首の利益剰余金は435百万円減少しております。なお、当該変更による当連結会計年度の各段階利益及び1株当たり情報への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、市場に密着した製品展開を図るべく、分野別に4つの部門をおき、国内および海外の事業戦略等を立案し事業展開を行っており、経済的特徴や製品の性質・サービスの内容等が概ね類似しているものを集約した「電子・先端プロダクツ」、「ライフイノベーション」、「エラストマー・インフラソリューション」、および「ポリマーソリューション」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要製品は、次のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
電子・先端プロダクツ	電子包装材料、ファインセラミックス、溶融シリカ、アセチレンブラック、電子回路基板、産業用テープ ほか
ライフイノベーション	ワクチン、診断薬、がん治療ウイルス製剤 ほか
エラストマー・インフラソリューション	クロロプレンゴム、セメント、特殊混和材、肥料、カーバイド、耐火物、環境資材 ほか
ポリマーソリューション	スチレンモノマー、ポリスチレン樹脂、ABS樹脂、クリアレン、耐熱・透明樹脂、ポパール、合繊かつら用原糸、食品包装材料 ほか

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	電子・先 端プロダ クツ	ライフイ ノベーション	エラスト マー・イ ンフラソ リユース ション	ポリマー ソリューション						
売上高										
外部顧客への 売上高	87,839	47,078	111,354	124,240	370,513	18,750	389,263	—	389,263	
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	0	9	67	77	4,377	4,455	(4,455)	—	
計	87,839	47,078	111,364	124,307	370,590	23,128	393,719	(4,455)	389,263	
セグメント利益 又は損失(△)	9,022	11,733	△9,295	△102	11,357	1,896	13,253	122	13,376	
セグメント資産	196,673	57,503	169,802	128,023	552,003	43,279	595,282	20,961	616,244	
その他の項目										
減価償却費	8,817	3,345	8,909	5,092	26,164	440	26,605	(89)	26,516	
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	23,157	3,886	11,792	4,673	43,510	229	43,740	(53)	43,686	

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント資産の調整額は、セグメント間消去の額および全社資産の額であり、全社資産の主なものは親会社の金融資産(現金および預金、投資有価証券)および管理部門に係る資産の額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	電子・先 端プロダ クツ	ライフイ ノベーション	エラスト マー・イ ンフラソ リューション	ポリマー ソリューション	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	92,203	43,262	111,673	135,365	382,505	17,746	400,251	—	400,251
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	16	66	82	3,865	3,948	(3,948)	—
計	92,203	43,262	111,690	135,432	382,588	21,611	404,199	(3,948)	400,251
セグメント利益 又は損失(△)	9,168	9,602	△7,962	1,154	11,962	2,395	14,358	55	14,413
セグメント資産	230,862	60,174	158,633	110,715	560,386	50,557	610,943	44,580	655,524
その他の項目									
減価償却費	9,595	3,471	9,159	5,182	27,408	504	27,913	(93)	27,820
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	40,860	10,613	11,681	6,004	69,159	71	69,231	(58)	69,173

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。
2. セグメント資産の調整額は、セグメント間消去の額および全社資産の額であり、全社資産の主なものは親会社の金融資産(現金および預金、投資有価証券)および管理部門に係る資産の額であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	226,206	97,985	65,071	163,057	389,263
連結売上高に占める割合(%)	58.1	25.2	16.7	41.9	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
有形固定資産	230,835	38,676	12,368	51,044	281,880

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を超える特定の外部顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	221,661	114,406	64,184	178,590	400,251
連結売上高に占める割合(%)	55.4	28.6	16.0	44.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
有形固定資産	247,909	64,591	467	65,059	312,969

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を超える特定の外部顧客がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他事業	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	電子・先端 プロダク ツ	ライフイ ノベーション ション	エラスト マー・イ ンフラン ソリューション ション	ポリマー ソリューション ション	計				
当期償却額	—	368	35	—	403	—	403	—	403
当期末残高	—	—	44	—	44	—	44	—	44

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他事業	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	電子・先端 プロダク ツ	ライフイ ノベーション ション	エラスト マー・イ ンフラン ソリューション ション	ポリマー ソリューション ション	計				
当期償却額	—	—	37	—	37	—	37	—	37
当期末残高	—	—	10	—	10	—	10	—	10

d. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額 3,568円69銭	1株当たり純資産額 3,436円95銭
1株当たり当期純利益 138円61銭	1株当たり当期純損失 142円73銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

- (注) 1. 1株当たり純資産額の算定上、株式給付信託が所有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。
また、1株当たり当期純利益又は1株当たり純損失の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
2. 1株当たり当期純利益又は1株あたり純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	11,947	△12,300
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(百万円)	11,947	△12,300
期中平均株式数(株)	86,194,729	86,176,487